



2005年(平成17年)
 6月24日 金曜日
 発行所 北海道紋別郡遠軽町
 西町1丁目 〒099-0428
遠軽新聞社
 ☎01584-2-1211
 ❷01584-2-1212
 ©遠軽新聞社 2005
 定価 1ヵ月1,400円(税別) 3ヵ月4,000円 1年売10,800円

遠軽とらや食堂

札幌に『のれん分け』

らーめん 藤沢店 長 「味、忠実に再現」
 共和国

【遠軽】町内の老舗ラーメン店「とらや食堂」(早川芳弘店長)の札幌店「遠軽とらや食堂」がJR札幌駅南口の商業施設「エスタ」にあるフードコート「パーク」札幌らーめん共和国」に7月7日、オープンする。道内各地のラーメン店8店舗に仲間入りし、同店の藤沢店長はとらやラーメンを札幌で1日1千食の売り上げを目指し、遠軽老舗のれんの味を修行中だ。

とらや食堂は1933(昭和8)年、上野別町中瀬別で開業し、遠軽に移り住む、当時隣人の中野人直伝のラーメン店。早川さんが三代目で、自家製麺と地元井口商店製のしょう油を使ったしょ
 う油の味をストレートに「S」が「とらや」の味と楽しめるラーメンが人気だが、高齢の早川さん夫婦には後継者がいない。らーめん共和国には、同共和国と「脱脂再生プロシエクト」に取組むラーメン店企画会社「FB」が「とらや」の味とのれんを守ること、今年1月から打診し、出店にこま備けた。札幌らーめん共和国は昨年10月にオープン。わずか4ヵ月で来場者が100万人に達する人気施設を示した。



4代目店長として「遠軽とらや」で修行中の藤沢さん(右)と智恵子さん

設で、常に出店数は8店舗。今月いっぱいまで契約が切れる根拠「しげちゃんラーメン」とパトナツチする。

藤沢さんはこれまで同社で、プロジェクトリーダー、料理人として道内老舗ラーメン店の札幌店を出店してきた。「出店に向かって遠軽とらや食堂で修行を積み「札幌で、とらや3代の味を忠実に再現したい」と遠軽老舗ラーメンの札幌デビューに意欲を見せ、「とらや4代目として恥じないラーメンを全道、全国のお客に提供したい」とのれん分けの意地を示した。

藤沢さんは早川芳弘・智恵子夫婦に指導を受けている。のれんを継ぐ札幌店に智恵子さんは「うれしごと」と目を細め、藤沢さんは「週末は1日1千食を提供出来るように頑張りたい」と話していた。